

医療情報連携ネットワークへの参加について (家持あんしんネット)

当院では、患者さんにより安全で質の高い医療を提供するため、地域の医療機関と安全な通信ネットワークを通じて診療情報（検査結果、お薬の処方内容、画像データ等）を共有する体制を整えています。

診療情報共有のメリット

● 救急・災害時でも確実な対応

万が一の緊急搬送時や災害時、かかりつけ以外の医療機関でも過去の正確な診療情報をもとに、より適切な治療を迅速に受けられます。

● 重複検査・重複投薬の防止

他の医療機関での直近の検査結果や画像情報、処方内容を確認できるため、不要な重複検査や、お薬の重複投与・相互作用を防ぐことができます。

● 個人情報の厳格な安全管理

厚生労働省のガイドラインに準拠した暗号化通信を用い、患者さんの診療に直接関わる医療従事者のみが閲覧できる仕組みです。

参加ネットワーク：

家持あんしんネット

高岡市・射水市・氷見市を中心とした地域医療情報共有システムです。患者さんの自由な意思（同意）に基づいて運用されます。

令和8年4月より、1回の同意で一括して情報連携が可能となる新しい仕組みに移行しています。

【患者さんの権利について】

このネットワークへの参加は患者さんの自由意思によるものです。同意されなくても診療上の不利益は一切ありません。また、一度同意された後でも、いつでも同意を撤回することができます。

情報共有を行っている対象医療機関（実績のある主な連携病院）

※当院は本ネットワークに参加し、実際に以下の保険医療機関と患者さんの診療情報を安全に共有・連携している実績がございます。

■ 公開・参照施設

- ・ 厚生連高岡病院
- ・ 高岡市民病院
- ・ 済生会高岡病院

■ 主な参照施設

- ・ 金沢医科大学氷見市民病院
- ・ 射水市民病院 ・ JCHO高岡ふしき病院
- ・ 高岡市急患医療センター

※その他、地域の登録医療機関と必要に応じてシームレスに情報連携を実施しております。

※ 家持あんしんネット（高岡市医師会）

<https://www.takaoka-med.org/yakamochi>



令和8年5月29日
病院長

